

まとめの脳実習口頭試問 再現 2021年7月8日実施

- ・解剖の班ごとに口頭試問が実施される。
 - ・山口先生が20班→18班→15班→・・・と後ろの班から飛び飛びに進め、梅原先生が若い番号の班から飛び飛びで進めていった。
 - ・自分の班の番になると質問内容が聞こえない程度に離れたところで待たされ、班員一人一人呼び出されて質問されていた。
 - ・質問内容としては、脳の部位を指されて「これは何？」と聞かれるか、部位名を言われて自分で指すというのが基本。そのほかの質問も少しあるみたい(再現参照)。
 - ・口頭試問終了後は黙って退室しなければならない(さもないと不正行為となる)。
 - ・同じ質問者に対して全く同じ質問について同じように答えていても、前の回答者が打ち切りであとの回答者が質問続行ということもあったようだ。
 - ・2021年の口頭試問は、山口先生と梅原先生だけが質問を担当。
- ※ 以下同じ班の方々の再現は、行を空けずになるべく並べて書くようにした。

山口先生ご担当

- ※ 基本的に1問でも間違えると、その場で不合格。
 - ※ 口頭試問の最初の1人はえらい長い時間質問されていた(用意していた質問を試しに一通り聞いてみていたのかも)。
-
- ・ 扁桃腺、歯状回、淡蒼球を聞かれました。ウェルニッケ、聴覚野、脳弓を聞かれた友人がいました。
-
- ・ 歯状回 下小脳脚 脳弓 帯状回 扁桃腺
- ※ 前の人間違えた問題からスタートするようなことが多かった。
-
- ・ 淡蒼球 下小脳脚 歯状回 脳弓 帯状回
- ※ 説明しながら同定するとよい
-
- ・ 歯状回、下小脳脚、上小脳脚、扁桃腺
- ※ 山口先生は前の人間違えたところを出すようです。
-
- ・ 扁桃腺、淡蒼球、視床
- ※ 僕の班は全員この質問で、1人だけ合格しました。1問間違えるとアウトのようです。
-
- ・ 扁桃腺、一次聴覚野、淡蒼球、尾状核、内包、視床、上小脳脚

- ・ 一次聴覚野、オリブ、補足運動野、扁桃体、内包
 - ・ 扁桃体、一次聴覚野、補足運動野、一次味覚野、青斑核、上小脳脚、歯状回
 - ・ 扁桃体、一次味覚野、運動補足野、一次聴覚野
 - ・ 扁桃体、歯状回、内包(前脚と後脚の場所それぞれ示す)、一次聴覚野、運動前野、補足運動野
- ※ 1問目の扁桃体間違えたんですけど、そのあと全部答えたら合格でした。
- ・ 淡蒼球、扁桃体、帯状回、内側、外側縦条、大脳脚、下小脳脚、歯状回
- ※ 扁桃体はしばらく考えたけど分からなくて分かりませんと言った。でもその他全て答えたら受かった

梅原先生ご担当

- ※ 8問程度用意されており、何問か間違えると不合格。
- ・ 第三脳室、乳頭体、視交叉、視床間橋、側脳室、黒質、大脳脚(中を通る繊維の種類)
- (1人だけ)舌下神経三角、迷走神経三角、顔面神経丘、薄束、楔状束、尾状核、被殻
- ・ 視床間橋、中脳水道、脳弓、透明中隔
 - ・ 黒質について→網様体の分泌しているもの(ドーパミン)
 - ・ 大脳脚について→通過しているものと、その位置(錐体路と皮質橋核路)
 - ・ 菱形禍→上、下随伴とルシュカ孔の菱形を構成しているもの
 - ・ 水平断→尾状核とレンズ核と内包と視床について軽く説明
 - ・ 大脳四脳室脈絡層、上小脳脚、中脳水道、大脳脚、黒質、赤核
 - ・ 黒質、大脳脚、大脳脚を通る神経路、大脳基底核の中の何か(たぶん尾状核)、横橋線維、赤核
 - ・ 黒質、大脳脚とそこを通る経路、淡蒼球、内包、尾状核、被殻
 - ・ 淡蒼球 被殻 前障 視床 内包の位置、大脳脚(位置 何が通るか→錐体

路・皮質橋核路)、黒質(位置 何を分泌するか・傷害されるとどうなるか)

- ・ 黒質、大脳脚、大脳脚を通る経路、上小脳脚、レンズ核
- ※ 指された構造を答える試験でした。なお、私の斑は転移性脳腫瘍の方で、大脳皮質の構造が不明瞭でした
- ・ 菱形窩を見せられて：上小脳脚 またその先で上小脳脚が交叉するレベル、薄束結節、迷走神経三角 その直上の構造(舌下神経三角)
- ・ 大脳の矢状断面を見せられて、視床、脳弓、視床間橋、視交叉、乳頭体
- ・ 下丘、青斑、迷走神経三角、内側隆起、髄条(?)、中脳水道、乳頭体、視床間橋、脳弓

コメント

※ 梅原先生は簡単なようです。山口先生は初っ端に扁桃体を聞かれて答えられず、一発アウトという方も多かったようです。

※ 扁桃体に関しては、昨日の脳実習予備日に、うちの班で山口先生に鉤(海馬周辺の位置関係)について質問したのですが、その時に聞いていた人は受かっています。予備日ちゃんと行くのと、山口先生への質問を多くするのが結構大切な気がします。

※ あと、分かりませんと言うと落ちるようなので、分からなくても何か答えたほうがよいと思われます。

※ 口頭試問に落ちた人用のレポートは、脳実習の資料として配られた脳の断面図を写すことでした。内容的には大したことはないのですが、口頭試問に労力を割くよりも本試験に向けて勉強したほうが無難です。もっとも、口頭試問の内容と試験には関連性があるように思えました。なので、口頭試問の復習はしっかりしたうえで本試験に挑むといいかと思います。

※ 口頭試問は約半数が不合格でした。口頭試問に不合格でも本試に合格した方が多数いらっしゃいます。なので、口頭試問に落ちても気にせず頑張ってください。